

The best relationship

第二学年通信 No 86

～最高の仲間たち～



2019,1,8.

新73執行部始動！

きぬ
かわ



1. 7.

各専門委員長から・・・

取り組み始まる！

4. 24～26.



☆古宇利島（こうりじま）

【 】

☆那覇（なは）

【 】

☆名護（なご）

【 】

☆本部（もとぶ）

【 】

☆摩文仁（まぶに）

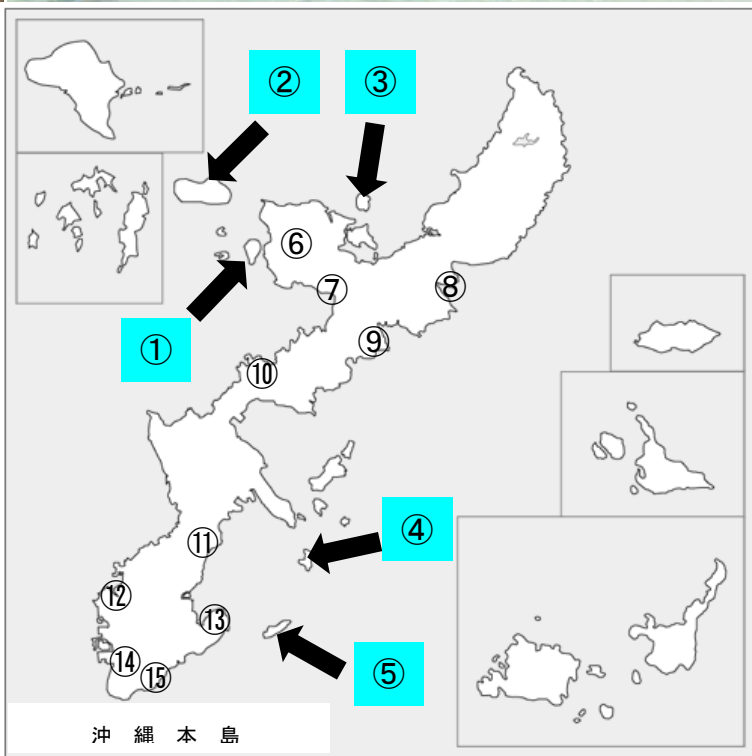
【 】

☆糸満（いとまん）

【 】

☆辺野古（へのこ）

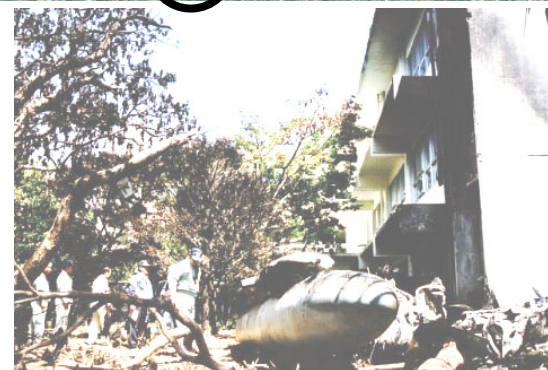
【 】



沖縄本島

『沖縄』を知ろう No 32

沖縄のアメリカ軍基地(4) ^{ふてんま} [普天間基地] ②



【2004年へり墜落事件】

普天間基地所属のヘリコプターが、訓練中にコントロールを失い、沖縄国際大学一号館北側に接触、墜落、炎上した。搭乗していた乗員三名は負傷したが、館内にいた大学職員、他民間人に負傷者は出なかった。接触した一号館はローターによる損傷、またその周辺の木々も焼かれてしまった。



沖縄大へり墜落14年「風化させない」市民、決意新たに

沖縄国際大学に米軍普天間飛行場所属のCH53Dヘリが墜落してから、13日で14年となった。米軍に構内を封鎖され、機体から上がる黒煙が空を突いた14年前とは打って変わって、この日の学内には、普段と同じように友人との会話を楽しんだり、スポーツに汗を流したりする学生の姿があった。学内で開かれた集会に参加した関係者らは、事故を風化させない決意を新たにし、普天間飛行場の一日も早い封鎖を求めた。

【2018年8月14日 琉球新報】

焦げた木の前で 基地閉鎖求め集会

集いは、ヘリ墜落で黒く焦げた木が今も残る場所で開かれた。学長は、昨年起きた普天間第二小学校での米軍ヘリ窓落下事故や、東村での米軍ヘリ不時着炎上事故を挙げ、「平穏・安寧を脅かす普天間飛行場の存続や固定化を認めることはできない。平和を希求する沖縄の思いを世界に発信し共有されることを目指す」と訴えた。



【2018年8月14日 朝日新聞】